

広島神楽

定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

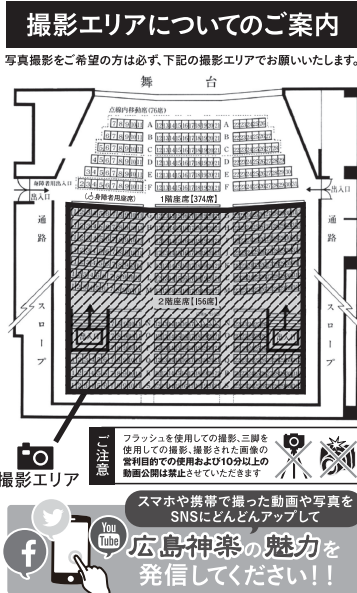
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。

※フラッシュの使用、三脚を使用**しての撮影は禁止**します。

(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



8月14日のタイムスケジュール

出演：鈴張神楽団(広島市)

19:00～開演

19:05～第一幕『山姥』
(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:05～第二幕『滝夜叉姫』
(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

すずはりかぐらだん

鈴張神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

鈴張神楽団は昭和26年に地元の方によって結成されました。神楽団結成から、衣装や道具などは全て地元の方々の寄付によって揃え、毎年秋に行われる宮崎神社での秋祭りを中心に、地元に基づいた活動を行っています。

近年になり、若い団員も増え、三度目の世代交代を向かえている今、神楽奉納を通して神楽に息づく先人達の思いを受け継ぎ、後世へと伝えていけるよう、団員一同精進したいと思います。



第一幕『山姥』 やまうば

越後の国・上路(あげろ)の山に、山賊退治という勅命を受けた源頼光と渡辺綱(わたなべのつな)は迷い込みます。山中のただ一つの灯を見つけ、一夜の宿を願います。しかしこの家に暮らす母と子は、都を追われ世を呪い、人々を恨み、上路の山の山賊となって悪行を重ねる山姥とその子・怪童丸(かいどうまる)でした。

山姥と怪童丸は、武勇の誉れ高き頼光と知らず悪事を企みますが、戦いに敗れ、山姥は怪童丸を見捨てて逃げます。しかし、すぐ立ち戻り我が身の上を明かし、母の一命に替えて怪童丸の命乞いをします。頼光はこの母子の運命を不憫(ふびん)に思い命を助け、怪童丸を家来として都へ連れ帰るという物語です。怪童丸は、後に坂田金時(さかたのきんとし)と名乗り、頼光の四天王の一人となります。

大太鼓	橋原 慎也
小太鼓	藪本 司
手打鉦	山中 伊吹
笛	大本 彩

源頼光	石川 昌士
渡辺綱	大田 拓我
山姥	山中 数人
怪童丸	吉田 和哉



第二幕『滝夜叉姫』 たきやしやひめ

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬(そうま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

大太鼓	橋原 慎也
小太鼓	大田 拓我
手打鉦	山中 伊吹
笛	大本 彩

大宅中将光圀	山中 数人
従人	石川 昌士
五月姫(滝夜叉姫)	竹迫 正棋
夜叉丸	吉田 和哉
蜘蛛丸	藪本 司

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。
※助成/一般社団法人地域創造